

岐阜広域合併に関する説明会開催

岐阜広域合併に関する説明会（主催 岐阜広域合併協議会）が、四月六日中央公民館で開催されました。

はじめに細江岐阜市長が、地方都市の空洞化、高齢化が進む厳しい状況に対応するため、さまざまな文化や価値観を持ったまちが手をとり合い、自立できる自治体を目指す、合併への思いを語りました。

それに続き広江町長は、一つひとつの問題もさることながら、全体的な視点で協議を進めていることを説明し、合併に向かって町民全体の意思統一を図り、夢のあるまちづくりを行う決意を述べました。

そのあと、岐阜広域合併協議会事務局より、新市建設計画（案）や、住民サービス・負担等の協議結果の報告があり、参加者からは多くの質問や意見が出されました。主なものは次のとおりです。

合併協議 全体について

Q. 各種サービスの調整結果には岐阜市の制度に合わせるものが多いが、旧市町の特徴が失われることはないですか？

A. 各市町が行ってきたサービスの良いところを取り入れ、財政面も考慮し、将来的に継続していけるサービスになるよう調整していきます。

Q. 合併により笠松町から選出される議員は二人になると聞いていますが、現在の笠松町民の意見が反映されなくなりませんか？

A. 議員には旧市町の枠にとらわれず、地域ごとあるいは仕事の分野ごとの代表者として行政に対し発言してもらいます。また、都市内分権を進める中で



説明会であいさつする広江町長

旧市町の文化や伝統を守るシステムをつくるので、笠松町民の意見が反映されなくなることはありません。

各サービスや 施策について

Q. 障害者の授産所は、合併後民営化されるのですか？

A. 授産所をはじめ各施設の取り扱いについては、合併後直ちに民営化されるのではなく、それぞれの経緯や今後の方向性を見極めたうえで対応します。

Q. 下水道受益者負担金の徴収は納得できないのですが。

A. 合併においては公平性を図る必要があります。少しでも安い金額になるよう調整しているので、ご理解をいただきたいと思えます。

Q. 路面電車や市営バスなど、岐阜市の交通体系は今後どうなるのですか？

A. 市営バスは来年にも民間へ移管される予定です。路面電車については、名鉄の撤退後、岐阜市が引き継ぐことは、財政面の問題も含めて検討しています。

Q. 羽島市の新幹線の駅と高速道路のインターが新市の南の玄関となるという位置付けですが、ひかりが一日数本しか停まらない駅をどのようにして表玄関として整備するのですか？

A. 今後利用者が増えれば新幹線の停車本数も増えるので、皆さんの積極的な利用が必要です。

その他

Q. 岐阜市の産業廃棄物不法投棄は、合併後においても心配な問題ですが、どのように対応していくのですか？

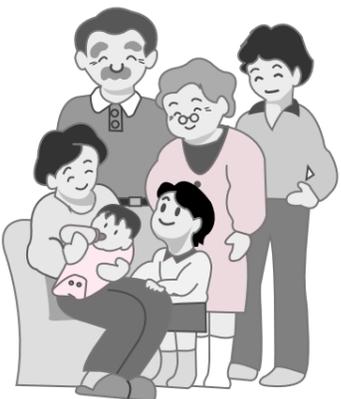
A. 現在、住民の安全を守るため、環境調査や原因究明に取り組んでいます。今後、国や県の協力も得て解決をしていきます。

Q. 今回の説明会の結果をどのように生かしていくのですか？

A. 説明会での意見は、今後の協議に反映させるとともに、広報などを通じて周知を図ります。

Q. 笠松町としての、今後の方針は？

A. 合併協議が全て終了してから、町民の皆さんに詳しく説明し、意識調査等を行い、意思統一を図る予定です。



説明会であいさつする細江岐阜市長

合併問題の住民投票 実施についてのお知らせ

四月八日開催の町議会全員協議会において、広江町長は合併問題の住民投票実施についての考えを説明し、その後、町議会議員全員の了承を得ました。

町長の考え方（要約）

昨年の二月に、合併問題の方向性と枠組みを決めるため、住民説明会と全有権者を対象とする住民意向調査を実施し、町民の意向を最大限に尊重し、岐阜市を中心とする岐阜広域合併協議会に参加し、二市四町による広域合併協議会を進めて参りました。

合併協議会については、合併の基本四項目や乳幼児医療、下水道受益者負担金問題などの節目となる大きな問題も決定し、間もなく

全ての協議が終了する予定です。

その時点で、住民説明会を開催し、全ての情報を開示するとともに、今回の市町村合併に関し、町民の皆さま一人ひとりが感情に流されたり、好き嫌いで判断することなく、冷静に将来を見つめ、総合的な判断を頂きたいため、町民の意向確認の方法としては、公平で公正、かつ、万人がその結果を認め合える住民投票の実施を考えております。